つるさき

神幸祭にお供をする鬼

発行所
鶴崎神社
〒701-0304
早島町早島2220
TEL 482-0097
FAX 482-0097
IP-phone
050-3318-1809
URL
http://www6.ocn.ne.jp/~turusaki/

一日（ついたち）参り

今年の夏は例年にも増して、暑さの厳しい夏となりました。観測史上一一三年振りの猛暑だったそうです。

そんな中でも月初めの一日には普段にも増して「一日参り」の方々が参拝されました。

古来から月の始まりには、神様の「おかげ」受けて「この月が健康で無事過ごせますように」また、「それぞれの立場で一ヶ月頑張れますように」と、「一日参り」が行われています。

当社では、毎月一日（一月は除く）午前九時から月次祭（つきなみさい）を執行致しております。この祭りは新たな月の始まりに際し、皇室の弥栄（いやさか）、国家と氏子の安泰（あんたい）を祈っています。何方でも参列できますので、ご一緒に「一日参り」を致しましょう。

いよいよ今年の秋祭りがやってきます。皆さんで伝統の祭りを盛り上げましょう。

社殿建設芳名版設置

昨年の年末に社殿建設奉納金の締切により、集計を行い六万円以上ご奉納の方のお名前を石碑に刻し、設置致しました。

六万円以上奉納の方々は、社殿西側へ、五十万円以上奉納の方々は、社殿東側へそれぞれ設置致しました。

西進入路に設置された寄附芳名版

玉垣奉納

社殿建設記念

三月二十二日開催の総代会において、新社殿の竣工を記念して、社殿西進入路に玉垣を設置する事が決議され、総代の奉納により五月に竣工した。

進入路の危険防止と景観保護のためにも有り難い奉納となった。

西進入路に設置された玉垣

歌碑の奉納

早島短歌会

六月二十六日、早島短歌会が結成四十周年を記念して、鶴崎神社にまつわる歌などを刻んだ歌碑を建立し、除幕式と共に神前で短歌の奉納を行った。

同会は、昭和四十四年に公民館講座として発足以来、作品の発表や歌集の発行などを行っており、今年当社の社殿竣工と節目の年が重なったのを契機として短歌の文化や自分たちの思いを後世に伝えていこうと建立したものである。

神道Q&A

【質問】

神社へ金品をお供えするときや、祈祷時の表書きの書き方について教えて下さい。

【答え】

御神前に金銭や食物、お酒などをお供えする際や、祈祷時に記す表書きには幾つかの書き方があり、「御神前」「御供」「玉串料」「御榊料」「初穂料」等の書き方が一般的です。

「御神前」「御供」という表書きは説明するまでもありませんが、「玉串料」「御榊料」とは玉串や榊の代わりに、また「初穂料」とはその年に初めて収穫されたお米の代わりに、それぞれお供えする料であることを意味しています。

このほか「上」や「奉献」「奉納」と書かれる場合もあります。「上」はよく神様や目上の方に対する御礼の際の表書きに用いられる語です。

「上」はお神札（ふだ）、お守などの授与品や撤下神饌（しんせん）を入れる袋の表書きにも用いられていますが、この場合、撤下品は神前にお供えする際、「上」と記すのであって「上」とはあくまでもお供えをする神様に対して用いられている語ということができます。

一方、お神札やお守が御神霊の御加護を戴く尊貴なものなので丁寧さを表現するために「上」を表書きにしていると考えることもできます。

このほか、神式の葬儀のお供えに関しては「御霊前」や「玉串料」「御榊料」といった表書きが用いられます。

市販の不祝儀袋には「御霊前」とあっても、蓮の花の文様が付いている場合がありますが、これは仏式用のものなので注意して下さい。

表書きには、神事に用いられる以外にも冠婚葬祭を通じてさまざまな書き方があり、自らの気持ちを伝える意味でも大切なものということができます。

本宮に社殿竣工の奉告

七月四日、当社のご祭神の本宮である「吉備津神社」に建設委員である総代が揃って正式参拝を行い、この度の社殿建設事業の完工をご祭神に奉告した。総代長が玉串をたてまつり全員で拝礼した後、神職から神社の説明を受け、鳴る釜神事を行うお釜殿の見学を行った。

社殿建設会計決算書

この度の社殿建設事業につきましては、まごころのこもったご浄財を奉納賜り、厚く御礼申し上げます。工事の完工と奉賛活動の終了を受け、左記に決算報告をさせて頂きます。

【歳入】　（自平成18年4月1日～至平成22年7月31日）

費目	決算額	備考
奉納金	153,257,000	2,282名
繰入金	83,345,108	営繕積立金会計から繰入
銅板寄附	874,000	437枚
祝儀	978,000	上棟祭、竣工祭
雑収入	592,558	利息等
合計	239,046,666	

【歳出】

費目	決算額	備考
造成工事費	32,725,821	造成、擁壁、本殿移設
電気設備工事費	3,990,000	社殿電気設備
工作物設置費	1,364,800	玉垣設置、灯籠移設
水道工事費	241,500	社殿水道設備
社殿改築費	184,000,000	社殿1棟71.41坪
調度品費	886,940	門帳、御簾等
記念品費	3,384,150	手拭3千枚、神社誌2千冊
祭典費	1,014,638	地鎮祭、上棟祭、竣工祭等
神賑費	485,770	上棟祭、竣工祭神賑行事
顕彰費	5,800,000	寄附芳名版設置費
印刷費	377,200	趣意書、領収書、ハガキ等
通信費	310,204	振替手数料、郵送料、宅配料等
消耗品費	42,279	封筒、文具等
会議費	149,795	建設委員会会議
備品費	691,998	下駄箱、毛氈、暖房器具等
付帯工事費	2,671,299	石垣、スロープ、土塀補修等
仮拝殿リース費	609,000	ユニットハウス2年借り上げ
雑費	301,272	
合計	239,046,666	

新しい社殿の竣工により正式参拝や団体参拝が増加しております。

参拝された方々からは「清々しくて気持ちがよい」、「氏神様にもこんな立派な神社があるのですね」などの声が聞かれました。

一月十四日　神戸市灘区篠原婦人会　四十名
一月二十二日　神戸市灘区本庄婦人会　三十八名
四月五日　岡山県神社庁吉備支部役員　十七名
四月十五日　阿智神社職員　五名
七月二日　岡山県神社庁御津北支部神職　八名
八月三日　岡山県神社庁総代会津山支部　九十九名
九月十五日　中国地区神社庁教化委員　二十二名

祭事暦

十月十六日（土）
鶴崎神社秋季大祭【供膳祭】［午前十時］
八幡神社秋季大祭［午後七時］（露店あり）

十月十七日（日）［午前九時］
神幸祭

十一月中　七五三祈祷

十一月二十三日（火）［午後二時］
新穀感謝祭

一月二日（日）［午後二時］
年始祭

毎月一日（午前九時）月次祭
※月次祭はどなたでも参列出来ますので、お誘い合わせ参拝さい。